

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 ひかり学園
認定こども園 曾根ひかり幼稚園

1. 本園の教育目標

教育基本法等の幼稚園教育に関わる根拠を踏まえ、仏教（浄土真宗）の教えを心のよりどころとし、次のような幼児像を求めることで、心身ともに調和のとれた健全な幼児を育成する。

- ・明るい子…人と仲良くし、誰とでも遊べる子
- ・強い子…はきはきと自分の考えを言える子
- ・たくましい子…衛生的で健康な子
- ・幸せな子…家族を大切に、感謝の気持ちを忘れぬ子

2. 本年度の重点的に取り組む目標

- ① 豊かな心が育つ保育の実践を考える
- ② 子どもや保護者と楽しむ食育を推進していく
- ③ 公開保育を通して園としての教育を全職員で見直していき、教育の質を高めていく

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A:達成している B:一部達成している C:一部改善を要する D:改善を要する

重点目標	学年	評価項目	評価指標及び評価結果					総括評価	コメント 評価結果に関する説明・意見等			
			基準	取り組み指標	取組結果	基準	成果指標			成果結果		
① 豊かな心が育つ保育の実践を考える	年長	わらべうた遊びを通して豊かな心を育む	4	研修に参加し、保育者がより多くのわらべうたの知識を習得して保育に取り入れる	3.5	4	わらべうたの声がそろ心地良さを感じたり嬉しそうに歌う姿が見られるようになった	3.5	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の中でもわらべうたは日常となり、遊びの中でも子ども同士で口ずさむ姿や遊びを進める姿も多く見られた。毎月の誕生会では全園児に四季のわらべうたを伝える事ができ、それを各クラスに持ち帰ることで季節に合った遊びへとつながっていった。 ・遊びを通して、友達との距離感や相手を思いやる事ができるようになり、それはわらべうたあそびの大きな効果と考えられる。わらべうたをたくさん経験して繰り返し遊ぶ中で豊かな心が育まれている事は実感できた。 		
			3	誕生会を通して四季に合わせたわらべうたの実施をする		3	自分たちでわらべうたを初めて楽しむ姿が見られるようになった					
			2	保育者や友達との触れ合えるわらべうたを保育に取り入れる		2	わらべうたに楽しそうに参加するようになった					
			1	保育の中で1日1回わらべうたを取り入れる		1	保育者が誘えばわらべうたに参加するようになった					
	年中	わらべうた遊びが自然と行われる環境を整える	4	学期に1回、親子で楽しむわらべうたをする機会をもつ	3.6	4	自分たちでわらべうたを始めて楽しむ姿が見られるようになった	3.1			B	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の気持ちを安定させ、落ち着いた生活態度を身につける上でもわらべうたは大切な保育の引き出しの一つである。満3歳クラスから年少へ繋ぎ、さらに年中でも継続的に遊ぶ事で、子どもの日々の生活の中に自然とわらべうたが聞こえてくるようになった。 ・クラスだよりにわらべうたを記載したり、保育参観の時に親子でわらべうた遊びをする事で保護者にも遊びを知ってもらい、その良さを感知取ってもらう事ができているように感じた。
			3	月に1曲クラス全員で取り組めるわらべうたを保育に取り入れる		3	保育者に「わらべうたをして」と頼む姿が見られるようになった					
			2	二人組になったりグループになって楽しく関わられるわらべうたを保育に取り入れる		2	誰かが始めるとわらべうたに参加して楽しむ姿が見られるようになった					
			1	週に1曲、月に4曲程度のわらべうた遊びをする		1	保育者が誘えばわらべうたに参加するようになった					

①豊かな心が育つ保育の実践を考える	年少	保育者や友達と触れ合いながら生活する事楽しむ	4	二人組なったりグループになって楽しく関わられるわらべうたを保育に取り入れる	3.5	4	自分から友達を遊びに誘う姿が多くなってきた	3	B	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうたをいろいろな場面(トイレに行く時・片付けをする時・並ぶ時など)で歌ったり遊んだりする事で、子ども達は自然に遊び方を覚える事ができていた。 ・集団に慣れない時期にはしぐさ遊びから始め、次第に役交替の遊びへと発展させていく事でわらべうたが楽しいと感じる事ができたと思う。 ・手をつないだり、触れ合う事で友達への親しみをより感じ愛着精神が育まれていくのだと思う。友達っていいな、友達好きだな、一緒に遊ぼうという気持ちをゆっくりと育てていく上でもわらべうたはとても効果的であった。
			3	季節の変化を感じるような製作やわらべうたを保育に取り入れる		3	気に入った友達に声を掛けたり遊びに誘う姿が見られるようになった			
			2	先生や友達の名前を入れ込んだ歌やわらべうた遊びを保育に取り入れる		2	皆でする遊びに楽しんで参加するようになってきた			
			1	先生や友達の名前を知り、呼び合う		1	好きな友達ができ、名前を呼ぶようになってきた			
	満3歳	園生活に慣れ、身の回りの事を自らする	4	片付いた心地良さを味わうとともに、幼児が好む歌を歌ったり絵本を読み聞かせたりしていく	3.6	4	自分の好きな遊びを十分楽しむようになってきた	3.1	B	
			3	片付け等をゲーム感覚で楽しみながら徐々にきれいに片付いた心地良さを感知取れるようにしていく		3	自分のマークシールが分かり、身の回りの始末を自分でできるようになってきた			
			2	身の回りの始末等できない事は手伝いながら、マークシールなどの位置を知らせていく		2	喜んで登園して遊ぶようになってきた			
			1	幼児が不安にならないように、身の回りの始末等は積極的に手伝う		1	先生と一緒に身の回りの事ができる様になってきた			

重点目標	学年	評価項目	評価指標及び評価結果				総括評価	コメント 評価結果に関する説明・意見等		
			基準	取り組み指標	取組結果	基準			成果指標	成果結果
②子どもと保護者と楽しむ食育を推進していく	年長	食育に関する行事の取り組みや栽培の実施をする	4	食べることの楽しさや、いのちをいただく事の大切さを感じる事のできる食育活動を取り入れる(おにぎり会・サンドイッチ会・おいもパーティーなど)	3.5	4	食事活動の準備など、自分たちでできる事を積極的にしていき、食に関する行事を楽しもうとする姿が見られるようになった	4	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学年での栽培活動や食育の行事も多々できたことから、子ども達自ら進んで取組み楽しむ姿が見られた。 ・クラスだよりなどで活動を保護者に知らせた事で、親子で登園した時に畑やプランターを覗くなど、一緒に生長を楽しむ姿や食育に関する会話なども増えてきたが一部の保護者である。もっと家庭に食育の話題を発信して、園と家庭とが共有できる事を増やしていくとさらに充実すると感じた。 ・食育において「いのちを頂く」という事に多く触れられた。よりいのちの大切さやエコ活動などに子ども自身が意識できるようにしていけたらより良い。
			3	野菜の栽培や食育活動の様子をクラスだより等で知らせる		3	家庭で、園に置ける栽培活動や食事会の話しをしている様子が、保護者からの連絡からも感じられるようになった			
			2	クラスで栽培野菜を決め、生長を期待して水やり等、世話をする		2	家庭で、園における栽培活動をしている様子が、感じられるようになってきた			
			1	食育に関する絵本・紙芝居・人形劇に触れる場を設定する		1	育てたい野菜を具体的に考える事ができた			
	年中	自分たちで育てた野菜を収穫して友達や家族と共に喜び合い食材への気持ちが変わる様保育の展開をする	4	収穫する事を喜び、家庭にも持ち帰る機会を作る	4	4	保護者の食育の感心が高まり、親同士でも話題にするようになってきた	3.5	B	
			3	野菜が活着している事を知り、収穫できるまでの様子をクラスだよりで知らせる		3	園で栽培している野菜の生長などについて、家庭で親に伝えている様子が保護者との関わりから感じられるようになってきた			
			2	プランターで野菜を育て、名前を付ける		2	自分たちが育てている野菜などの生長を感じて、保育者や友達に伝えるようになってきた			
			1	食べ物に関する絵本を読む		1	イチゴが実っているのを楽しんでいた			

② 子どもと保護者と楽しむ食育を推進していく	年少	食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける様保育の展開を工夫する	4	クラスだよりやおたよりノートを通じて子どもの食事の様子を家庭と共有する	3.3	4	食事の準備も身に付き、自らイラストを見て食器を正しく並べるようになった	4	A	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達に基本的な食事での習慣が身に付くように言葉だけでなく絵本やホワイトボードなどで伝えてきた。箸やスプーンの適切な使い方や食器の置き方・三角食べなどがこの1年で習得できてきた。 まずは食事の時間が楽しいと感じる事が大切である。コロナ禍で黙食で食事を進めてきた為、友達と味わいを共有したりする事ができにくかった。クラスだよりなどで食事面について伝える機会が少なかったことが反省点である。
			3	美味しそうに食べている姿に共感しながら、いろいろなものを食べる大切さを知らせていく		3	友達と楽しく残さないで食べるようになり、おかわりをするようにもなった			
			2	絵本やホワイトボードを使い、食器の正しい並べ方を知らせる		2	夏野菜の生長を喜び、収穫を楽しみにしている姿が見られた			
			1	午前中にたくさん体を動かして遊び、お腹を空かせて給食への期待を持つ		1	給食の味に慣れていなかったり、苦手なものは食べようとしない			
	満3歳	自分で食べ、楽しく食事をしよう、保育の展開を工夫する	4	クラスだよりや手紙を通して、子どもの様子を家庭と共有する	4	4	自分で箸やスプーンを適切に使って食べるようになってきた	3	B	<ul style="list-style-type: none"> 食事面においての家庭での教育・躾がとても低下しているため、園で気付いた事は保護者に丁寧に伝え、園と家庭とで共に改善していく事が大事だと感じる。食べさせてもらっている子が実に多く、自分で食べようという意欲がない子が多いので、まずは食べるという気持ちを育てる事が大事だと感じる。 子ども達には食についての絵本を繰り返し読み聞かせする事で食べることに興味を持ち、いろいろな食材を知ったり、それを食べようと挑戦する姿がでてきた。
			3	「おいしそう」「先生も〇〇好き」等、食べる事が楽しいという感覚を持てるよう言葉を掛ける		3	好きなものは嬉しそうに食べるが、食べ残す姿も見られる			
			2	食についての絵本や紙芝居を見る機会を作る		2	残らずに食べた給食の食器を保育者に見せにくる姿が見られるようになってきた			
			1	午前中にたくさん体を動かして遊び、お腹を空かせて給食を楽しみにする		1	食に関する意欲はあまり感じられない			

重点目標	学年	評価項目	評価指標及び評価結果				総括評価	コメント 評価結果に関する説明・意見等		
			基準	取り組み指標	取組結果	基準			成果指標	成果結果
③ 公開保育を通して園としての教育を全職員で見直していき、教育の質を高めていく	全学年	公開保育を活用幼児教育の質の向上をはかる	4	公開保育で受けた評価や課題について改めて自分たちの保育を振り返り、質の向上につながる充実策や改善策などを検討する	3.2	4	公開保育で受けたアドバイスなどを受け止め、保育の中で試したり、結果を話し合うようになった	3.7	A	<ul style="list-style-type: none"> 昨年と比べると、コロナ感染予防の規制が軽減化され、公開保育を多く行う事ができた。保護者や地域の人に公開する上で、重点目標をとらえながら保育計画が立てられているか、保育内容は適しているか等の話し合いをしながら進めることができ、全職員が園としての教育をしっかりとしてとらえようとする意識が高まった。 公開保育をする事で、様々な視点からのアドバイスをもらう事ができる。「自分の保育の良さ」や「課題点」を見つける事ができた事は公開保育をした職員の大きな自信となり、学びとなった。また、同僚の保育を見る事で、良い所を学び取る事ができ、保育の引き出しを増やす事ができ、保育・教育の質の向上にもつながったと思う。 職員間での意見交換や話し合う場が増え、対話の中で同僚性が高まってきた。一人ひとりが公開保育に向けての意識を持ち取組めるようになった為、さらに園として目指す方向性がより確立していけると思った。 重点目標を職員で立てて、それに向かえる保育を意識しながら計画・準備・実行・振り返りというPDCAサイクルを大切に取組む事ができた。 主体的な保育という事に対してはまだまだ研修等で学びを深めていく必要がある。保育者同士で主体的な保育について対話しながら、曾根ひかり幼稚園としてどう展開させていくべきかを考えていきたい。
			3	公開保育の実施に向けて、自園の良さや課題について検討する		3	保育の振り返りの中で幼児の成長や課題についてよく話し合うようになった			
			2	公開保育の実施について、内容や方法を検討する		2	話し合いの中で他の人の考えを聞いたり、自分の思いを話すようになった			
			1	公開保育についての話し合いをする		1	公開保育についてのイメージを持つ事ができるようになった			

4.総合的な評価結果

評価	評価の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価・学校関係者評価の進め方の研修を数年前から多く受け、その中で今まで学んできたことや積み上げてきたものに今年度は新たな取り組みを加えて園としての教育を見つめ直していく事にした。重点目標を全職員で決めた上で、その目標の具体的な内容を明示する為に、学年毎に「評価項目」を決め、「取組指標」「成果指標」を検討してみた。学年毎に進める事は園全体の自己評価になりにくいのではないか、という疑問を抱き、北九州市幼稚園連盟の教育アドバイザーの先生に相談をしたり指導を頂いたりしながら研究を進めてきた。まだまだ課題は多いが、方向性が見えてきて全職員が共通理解しながら前に進めてきたので、このまま次年度も継続していきたい。 公開保育を職員や保護者や地域の方に見ていただく事でひらかれた園づくりを目指している。と同時に、全職員が互いの保育を見合う事、それを一緒に振り返る事で互いの刺激となっている。同僚性の良さやコミュニケーションの活性化に繋がってきたと感じる。公開保育をした先生には次への課題を見つけると共に、「自分の保育の良さ」も感じてもらう。統一された教育理念のもと、曾根ひかり幼稚園の教育の質の向上を目指す事ができると考える。

5.今後取り組む重点課題

課題	具体的な取り組み方法
人や自然との関わりの中で、自分たちでできる SDGs に取り組んでいく	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で SDGs を学び合い、子どもへの SDGs 教育の必要な理由などの知識を深める 簡単にできる身近な事から取り組み、家庭と連携しながら共に進めていく
子ども達が年齢の枠を超えて、幼児同士の関わりを大切にしながら豊かな心を育む	<ul style="list-style-type: none"> 保育者同士の連携をはかりながら、他学年の友達と一緒に遊ぶ場を作り交流を深める 年間行事を通しての異年齢交流の見直しをしていく
職員間の対話を大切にしながら、園として目指す幼児像の方向性を確立すると共に主体的な保育の実践を考える	<ul style="list-style-type: none"> 園としての育てたい「根っこ」を共通理解した上で園内研修の充実をはかる どのような行事や活動でも、先ずはどうしていくのか？ どうしたいのか？を子ども達に問いかける事を大切にする

6.学校関係者評価委員会の評価

- 卒園して本校（曾根小学校）に入学して来るので、幼稚園との連携は欠かせない。今現在、保幼小連絡会で4月に入学してくる子ども達の情報共有ができています。又、1学期の終わりに新1年生の様子を幼稚園に伝えて職員同士共有し合い交流ができています。これからも子どもの事を良く知り、連携して子どもの育ちを見守っていききたい。
- コロナ禍でここ数年、園児と学童児の交流ができなかったが、来年度から実施できると思う。子ども達を育む為に大事な事を共有していききたい。
- 特別支援は大変だと思う。先生達は園児の個性に応じて体力と気力がいると思う。今日の会議で次年度は「子ども主体で」と言うことだが、今年度の公開保育を見ていて先生達が教えてくれる姿に子ども達は安心して心ひらいて遊んでいると感じることができた。先生が子ども達を導いていくのも心を育てていると思う。

- ・幼児期は何にでも興味を持つ年齢で、人格の形成期にあるので、今は覚える時だと思う。しっかり学んでいろいろ覚えていって欲しい。
- ・わらべうたは発展していって欲しい。その中に「信号は赤生まれ、黄色も生まれ…」などという言葉を入れ込んでくれないかな、と思う。歌で交通ルールを覚えていって欲しい。自分の命は一つと言う事をきちんと理解して欲しい。
- ・提出書類が大変だと感じた。又、先生達は自己点検で自分を厳しく評価しているなど感じた。
- ・園の保育を見ていて、子ども達が明るく過している姿が素晴らしかった。先生達が一生懸命考えて保育を進めている事を感じ取る事ができた。
- ・教育は家庭教育が一番大事。先生達の教育は素晴らしいが、それをもっと家庭へ発信していって欲しい。

《学校関係者評価委員による学校評価の流れ》

	日 時	内 容
1	令和4年4月27日(水)	学校関係者評価委員会発足
2	令和4年5月13日(金) 10:30~11:30	年長クラスの公開保育 及び評価
3	令和4年5月27日(金) 10:30~11:30	年中クラスの公開保育 及び評価
4	令和4年10月1日(土) 9:00~12:00	運動会の観覧 及び評価
5	令和5年1月26日(木) 10:30~11:30	年少クラスの公開保育 及び評価
6	令和5年2月21日(火) 11:00~12:00	学校関係者評価委員会会議 ・評価委員と幼稚園園長と懇談会 ・令和4年度のまとめと評価 ・職員の自己評価を開示 ・次年度の課題

学校関係者評価委員 (曾根小学校校長) _____ 印

学校関係者評価委員 (曾根市民センター館長) _____ 印

学校関係者評価委員 (中曾根自治会会長) _____ 印

学校関係者評価委員 (小倉南交通安全協会役員) _____ 印

学校関係者評価委員 (保護者会 前年度会長) _____ 印

学校関係者評価委員 (保護者会 今年度会長) _____ 印

学校関係者評価委員 (保護者会 今年度会長) _____ 印